



そなえよつねに
ボーイスカウト

進級考査の手引き

【ボーイスカウト部門・ベンチャースカウト部門】

日本ボーイスカウト

愛媛県連盟

1. 目的

この進級考査の手引き（以下、「本手引き」という）は、平成29年9月1月施行の「ボーイスカウト及びベンチャースカウトの進級課目の改定」（以下、「新課程」という）にあわせて、愛媛県連盟において各団・各地区間での各進級課目の進級水準を統一することを目的に設ける。なお、本手引きの適応対象スカウトは、新課程に移行したスカウトとする。

2. 進級課目・進級スケジュール

現在のボーイスカウト部門の進級課程は、平成14年9月1日に中央審議会の承認を受け改定され、また、ベンチャースカウト部門は、平成9年5月にシニアスカウト部門からベンチャースカウト部門に名称が改定され、それに伴い進級課程についても同時期に改定されました（平成23年に一部改定）。

そのなかで、今回の改定で「活動的で自立したスカウト」を育てるため、一貫性のある進歩を重視し、ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の進級課程を一本化した6段階とし、すべての進級章を取得して到達点である富士スカウト章を目指す制度にしたことと、それぞれの進級課目に、「キーワード」および「目標」が設定された。



なお、カブスカウト隊から上進するスカウトの進級スケジュールの一例を下記に示す。各隊長は、スカウトの進級意欲・学習面等を考慮して、スカウト個々に進級スケジュール、及び隊として上進時期を決定すること。

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学5年	カブスカウトとして活動（9月から4月にボーイ隊へ上進）									初級／上進者の取得目安		
小学6年	初級／入隊者の取得目安			初級スカウトとして活動						2級／進級時期の目安		
中学1年	2級スカウトとして活動			1級／進級時期の目安						菊／進級時期の目安		
中学2年	1級スカウトとして活動			菊／進級時期の目安						菊／進級時期の目安		
中学3年	菊スカウトとして活動（9月から4月にベンチャー隊へ上進）			菊／進級時期の目安						菊／進級時期の目安		
高校1年	単／進級時期の目安			単／進級時期の目安						単スカウトとして活動		
高校2年	単スカウトとして活動			富士／進級時期の目安						富士／進級時期の目安		
高校3年	富士／進級時期の目安			富士スカウトとして活動（9月から4月にローパー隊へ上進）						富士／進級時期の目安		

※移行のためのリーダーハンドブックより

3. 日本連盟教育規程、愛媛県連盟独自基準の問題点と改善

愛媛県連盟の現状の問題点として、現在の教育規程の記載が指導者及びスカウト個々の主観で様々な解釈が可能であった。そのため、いざスカウトが企画・計画・活動する段階となった時、その活動が進級内容に適合するの

不適合なのかの個々の事例で判断が必要であった。


そこで、日本連盟教育規程を基礎レベルとして、愛媛県連盟独自の統一した進級基準（以下、「本基準」という）を記載・追加することによって、活動毎の個別事例の判断ではなく、一貫した考えのもとでスカウト自らが企画から活動、評価・反省が可能となるようにした。

ただし、スカウト個々の能力及び身体的特徴、及び地域特性によるテーマでの活動などにより、本基準を緩和することは、各地区コミッショナーと協議のうえ、各隊長の判断でできるものとする。ただし、その協議結果は地区コミッショナーを通じて、県連盟コミッショナーに報告するものとする。

3-1. 初級スカウト章

初級スカウト章のキーワードは、「仲間」である。


初心者としてハイキングやキャンプで自分のことが自分でできるようにすることが目的である。

	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1) 「ちかい」と「おきて」が言える。そのうえで、隊長と話し合う。	同左
	(2) 「スカウト章」「モットー」「スローガン」の意味を説明できる。	同左
	(3) 日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。	同左
	(4) 「連盟歌」が歌える。	同左
	(5) 普段の集会で必要なもの（訓練用具）を知り、携行する。	同左
	(6) スカウトサイン、敬礼、スカウトの握手ができる。	同左
健康と発達	(1) 体温と脈拍を正しく測ることができる。	同左
スカウト技能	(1) 自分の体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。	同左
	(2) 集会で使う身ぶり信号（気をつけ、休め、すわれ、分かれと集合隊形の各種サイン）、笛の合図を覚える。	同左
	(3) ロープ結び ① 次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア) 本結び イ) 一重つぎ ウ) ふた結び エ) もやい結び オ) 8の字結び	ア)、イ)、ウ) 同左 エ) もやい結びは、自分に結ぶ方法と相手に結ぶ方法の2通りとする。 オ) 同左
善行	(1) 集会などで行う社会奉仕活動へ積極的に参加する。	同左
信仰奨励	(1) 隊集会やキャンプ、ハイキングでスカウトズ・サービスに参加する。	同左
班長会議	(1) 初級スカウトとして進級することを、班長会議で認めてもらう。	同左

3-2. 2級スカウト章

2級スカウト章のキーワードは、「ハイキング」である。

班の中心として、ハイキングの計画・実施・報告ができるとともに、初級スカウトの指導ができることが目的である。

	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1) 「ちかい」と「おきて」について意味を説明でき、その実践に努力していることを隊長に認めてもらう。	同左


	(2)日本の国旗の意味、歴史、仕様を説明でき、班や隊の活動で国旗を正しく掲揚できる。	同左
	(3)外国旗およびその国のスカウト章を5か国以上見分ける。	同左
健康と発達	(1)体温、脈拍と体調との関係について説明する。	同左
	(2)救急法 ①日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当や対応を説明できる。 ア)鼻血 イ)目のちり ウ)やけど エ)指の切り傷 オ)立ちくらみ カ)頭痛 キ)蜂、ダニ、毛虫などの虫さされ ク)熱中症 ②三角巾で他の人の頭、手、ひざ、足に包帯を巻き、腕を吊る方法を実演する。	同左
	(3)隊または班の安全係を3か月以上担当する。	同左
スカウト技能	(1)ハイキング・読図 ①16方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。 ②2万5千分の1地形図を用いて次のことをする。 ア)図上に示された2つの地点の間の方角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。 イ)真北と磁北の違いを説明する。 ウ)500m(または1km)ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6桁(またはは8桁)座標読みを行い、示された地点に到達する。 ③三角点、水準点、標高点、等高線とは何かを知り、三角点または水準点の標石を発見する。 ④10個以上の地形図記号を覚える。 ⑤コンパスを用い、バックベアリングができる。 ⑥地図とコンパスを用いた10km程度のハイキングを計画し、隊長の指名する2級以上のスカウト(但し、適任者がいない場合はベンチャースカウトも可)とともに、保護者の同意のもと実施し、報告する。このハイキングは、1.基本(1)および6.班長会議(1)以外の課目を終了した後に、仕上げの課目として行う。	同左
	(2)キャンピング ①次の野外料理を作る。 ア)複数人数分の米飯および味噌汁 イ)複数人数分の野菜、肉、魚、玉子を材料とした2種類以上の料理 ②かま、なた、のこぎりを安全に使用でき、手入れと保管ができる。 ③火口、焚き木、薪を作り、マッチ2本で火を起こし、500mlの水を沸騰させる。	①複数人とは、スカウトが所属する班員の人数とする。 ②、③同左
	(3)ロープ結び ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア)巻き結び イ)ねじ結び ウ)引きとけ結び エ)ちぢめ結び オ)腰掛け結び カ)てぐす結び キ)てこ結び ク)張り綱結び	同左
	(4)観察 ①食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。	同左

	②24個の小な物を1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって答える。	
	(5)計測 ①100mの距離を誤差5%以内で歩測する。 ②スカウトペースで2kmを15分で移動する。 ③はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で量る。	同左
	(6)通信 ①片かな手旗信号で15の原画を理解し、10文字程度の語句を発信、受信できる。 ②追跡記号を10種以上覚える。	同左
奉仕	(1)デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上奉仕する。	同左
信仰奨励	(1)スカウトOWN・サービスで自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、実践により感じたことを発表する。	同左
班長会議	(1)初級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。	同左

3-3. 1級スカウト章

1級スカウト章のキーワードは、「キャンピング」である。

班ボーイスカウト活動の中心として、スカウトキャンプの計画・実施・報告ができスカウト技能全般を単独で実施できることが目的である。


	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常の生活で示す。	同左
	(2)姉妹都市または自分が興味を持っている2か国の民族、文化、通貨、言語を調べ、隊または班集会で話す。	同左
	(3)日本の国旗と外国旗を併用して掲揚および設置する時の注意事項を知る。	同左
	(4)半旗の意味と正しい掲揚の方法を知る。	同左
健康と発達	(1)50m泳ぐか1,000mを走り、自己記録を更新できるように努力する。	同左
	(2)水分や食物の補給が体調に与える影響を知り、体調を管理するための準備ができる。	同左
	(3)救急法 ①班員1人と協力して急造担架を作り、実際に人を運ぶ。 ②直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の違いを知り、直接圧迫止血法による応急処置ができる。	ボーイ隊へ上進後、普通救命講習又は同等以上の講習会を修了していることが望ましい。
スカウト技能	(1)キャンピング ①班の炊事係として、2泊3日以上のカンピングの調理を担当する。 ②自然物(石、木、竹等)を用いた、キャンプに役立つ工作を1つ以上作成する。	①～③同左 ④宿泊数には、世界ジャンボリーや海外の大会は、宿泊数とし

	<p>③マッチの防水加工を施し、携帯用の防水容器に入れて提出する。</p> <p>④連続5泊以上の、隊キャンプか自団の隊または班で参加できる地区、県連盟、日本連盟のキャンプ大会に参加する。</p> <p>⑤キャンプにおける用便、ゴミ処理ならびに食料保管について、衛生上注意する点を知り、実践できる。</p> <p>⑥1級旅行（1泊24時間以上のハイキング）の計画書を作成し、必要な個人装備を携行して隊長の指名するベンチャースカウト（但し適任者がいない場合は1級以上のスカウト）とともに、隊長より与えられた課題と方法によりキャンプを行い、報告する。このキャンプは、1.基本(1)および6.班長会議(1)以外の課目を終了した後に、仕上げの課目として行う。</p>	<p>て認めない。</p> <p>⑤同左</p> <p>⑥1級旅行の行動範囲は、スカウトが居住している市町村内での野営を伴う行動を基本とする。</p>
	<p>(2)ハイキング・読図</p> <p>①日中、夜間においてコンパスを用いずに2種類の方法で発見する。</p> <p>②300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。</p> <p>③クロスベアリングの手法を用い、地形図上で現在地を発見する。</p>	同左
	<p>(3)ロープ結び</p> <p>①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。</p> <p>ア) 垣根結び イ) よろい結び ウ) バタフライノット エ) 馬つなぎ オ) からみ止め カ) バックスプライス キ) 角しばり ク) はさみしばり ケ) 筋かいしばり</p>	同左
	<p>(4)観察</p> <p>①樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。</p> <p>②北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。</p> <p>③身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚類など）について観察し、報告する。</p>	同左
	<p>(5)計測</p> <p>①自作の簡易測量器具を用いて、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。</p> <p>②簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。</p> <p>③ハイキングで野帳をつけ、その野帳によって略地図を作る。</p>	<p>①、②同左</p> <p>③野帳の略地図の作成は、1線法、又は2線法を基本とする。</p>
	<p>(6)通信</p> <p>①片かな手旗信号で20文字以上の文章を発信、受信できる。</p> <p>②号笛を使って野外でできる簡単な通信ゲームを考え実施するか、号笛を使用した救難信号を覚える。</p>	<p>①20文字以上の文章中には数字を入れること。</p> <p>②同左</p>
	<p>(7)技能章から、「ハイキング章」「スカウトソング章」を取得する。</p>	同左
奉仕	<p>(1)班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。</p>	同左
	<p>(2)自分の住んでいる地域にある3つ以上の施設への案内ができる。</p>	同左
信仰奨励	<p>(1)隊集会やキャンプ、ハイキングで行うスカウトズ・サービスで主要な役割を果たす。</p>	同左
班長会議	<p>(1)2級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。</p>	同左

3-4. 菊スカウト章

菊スカウト章のキーワードは、「模範」である。


自分の隊・班で積極的に活動でき、他のスカウトの良き模範として、班長や上級班長等、責任ある行動と指導ができることが目的である。

	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力して他のスカウトの模範となる。	同左
	(2)班長、次長（グリーンバー）、またはジュニアリーダーとして隊運営に6ヶ月以上携わる。	同左
	(3)B-Pのラストメッセージを読み、隊長とその内容について話しをする。	同左
	(4)外国のスカウトの「おきて」を調べる。できれば外国スカウトや指導者に直接教えてもらう。	同左
健康と発達	(1)5分間泳ぐか1,500mを走り、自己記録を更新できるように努力する。	同左
	(2)救急法 ①AED（自動体外式除細動器）について以下のことが説明できる。 ア)AEDとは何か イ)どのような時に使用するか ウ)使用の手順 ②たばこ、アルコール、薬物が人体へ及ぼす害について知る。	ボーイ隊へ上進後、普通救命講習又は同等以上の講習会を修了していること。
スカウト技能	(1)技能章から「野営章」「野外炊事章」「リーダーシップ章」を取得する。	同左
	(2)班長、次長（グリーンバー）として班キャンプ、またはジュニアリーダーとして隊キャンプの計画を行い1泊以上の固定キャンプを実施し隊長に報告書を提出する。	同左
奉仕	(1)団や地域で取り組んでいる奉仕活動に4日以上（1日1時間以上）参加する。	同左
信仰奨励	(1)信仰奨励章を取得する。	同左
班長会議	(1)1級スカウトとして4か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。	同左

3-5. 隼スカウト章

隼スカウト章のキーワードは、「冒険と奉仕」である。

スカウト技能を役立てることができ、ジュニアリーダーとして基本的な隊運営の知識を有し、健全なる体と精神を身につけることが目的である。

	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1)菊スカウトとして、最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。	同左
スカウト技能	(1)自分を含めた2人以上のベンチャースカウトで、安全と衛生および環境に配慮した2泊3日以上移動キャンプ（歩行距離20kmまたは、自転車100km以上）を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。	宿泊地は、該当スカウトが住居する市町村以外の市町村で1箇所以上実施すること。
	(2)次のスカウト技能のいずれかをボーイスカウト隊で指導する。 ①計測 ②通信 ③ロープ結び	指導記録報告書をまとめ提出すること。

	(3) 技能章から「救急章」「パイオニアリング章」を取得する。	同左
スカウト精神	(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」のキャンプファイア物語21, 22 および26を読み、内容について隊長と話し合う。	400 文字詰原稿用紙2枚程度の感想文を提出すること。
奉仕	(1) 他部門の活動へ6か月以上にわたり奉仕し、その実績を報告する。	奉仕実績報告書として提出すること。
	(2) 社会的弱者（高齢者、障がい者等）への支援活動を積極的に行い、活動記録を隊長に提出する。	活動記録報告書として提出すること
信仰	(1) 自分の所属または興味を持った教宗派の歴史と教えを知る。	同左
	(2) 自分の所属または興味を持った教宗派の宗教行事について知る。	同左
成長と貢献	(1) チームプロジェクトのチーフか主要な役割としてプロジェクトを計画、実施し、隊長に報告書を提出する。または、3泊4日以上の子隊キャンプの実施計画を作成し、実際に運営を行い、隊長に報告する。	同左

3-6. 富士スカウト章

富士スカウト章のキーワードは、「リーダーシップ」である。

プロジェクトの計画・実施・報告ができ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるリーダーとなる資質を身につけることが目的である。

	日本連盟教育規程	愛媛県連盟
基本	(1) 単スカウトとして、最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。	同左
	(2) 現在の自分の考えと将来の進路についてまとめ、その内容について隊長と話し合う。	隊長と話し合った内容・結果を報告書としてまとめること。
スカウト技能	(1) 技能章から「野営管理章」「公民章」を取得し、技能章を合計15個以上取得する。	同左
	(2) 自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ(固定または移動)を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。	女性スカウトの単独キャンプが困難と隊長が判断した場合は、バディ方式で実施してもよい。ただし、キャンプに必要な道具一式は個々に携行すること。
スカウト精神	(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読み、感想文を提出する。	400 文字詰原稿用紙2枚程度。
奉仕	(1) 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施して、報告する。	報告書としてまとめること。
	(2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。	奉仕実績報告書としてまとめること。
	(3) 奉仕の意義について理解し、自身が今後の人生においてどのように社会に対して奉仕、貢献できるかを文章にまとめ隊長と話し合う。	隊長と話し合った内容・結果を報告書としてまとめること。

信仰	(1) 宗教章を取得するか、取得に対して努力をしたことを隊長に認めてもらう。	同左
成長と貢献	(1) 隼スカウトになった後、自己の成長と社会に役立つための課題を設定し、個人プロジェクト(研究・製作・実験など)を自ら企画して隊長の承認を得た上で、少なくとも1か月以上にわたって実施、完結させ、隊長に企画書、計画書、および報告書を提出する。	同左

4. 技能章

1級スカウト章から富士スカウト章までの進級に必要な技能章は、下記のとおりである。また、技能章の取得開始時期は、2級スカウト（1級課目挑戦時）からとする。

なお、菊スカウト章から新課程に取り組む場合1級スカウトの進級課目に設定している技能章2個（ハイキング章、スカウトソング章）については再度取得することを必要とせず、富士スカウト章として必要な技能章の数も15個から2個引いた13個となる。（2017.07 スカウティングP.9より）

また、同様に菊スカウト章を取得しているスカウトについても再度取得することを必要とせず、富士スカウト章として必要な技能章の数も15個から5個引いた10個となる。

ただし、当該技能章の取得を妨げるものではない。

～各進級に必要な技能章～

	技能章名称	考査員認定	隊長認定	1級	菊	隼	富士
1	野営章		○		○		
2	野営管理章	○					○
3	救急章	○				○	
4	野外炊事章		○		○		
5	公民章		○				○
6	パイオニアリング章	○				○	
7	リーダーシップ章		○		○		
8	ハイキング章		○	○			
9	スカウトソング章		○	○			

※考査員は考査員一覧表による。

旧課程で履修が完了しているものについては、「技能章 読み替え表（日本連盟発行）」を用いて読み替えを行うこと。

4-1. 隊長認定技能章

隊長認定の技能章のみ技能レベルの水準維持を目的に記載する。なお、隊指導者の中で当該スキルを有していない場合は、指導員などのインストラクターに指導を依頼し、確認後に隊長が認定するものとする。

▶ 野営章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1) 入団以来通算10泊以上のキャンプ（3泊以上のキャンプに2回参加したことを含むこと、また自分が計画した班キャンプを含むことができる）に参加していること。	同左
(2) キャンプ地を選ぶときの基本的な条件と自然環境を保護するための注意点を説明し、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する。	同左
(3) 家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを3種以上張り、特徴、用途	同左

を説明できること。	
(4) フライ付き家形テントを正しく張り、昼と夜、晴天と雨天、強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱、ソドクロス、換気窓、扉の扱い、乾燥作業ができること。また、ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができる。	同左
(5) 木、竹などの材料を用い、正しいロープ結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること。	同左
(6) キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。 ① 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法 ② 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由 ③ キャンプサイトにハエを発生させないための対策	同左
(7) 夜のキャンプサイトにおける正しい明かりの取り方を理解していること。また、ホワイトガソリン、灯油、ガス、乾電池を使用するキャンピング灯火を3種以上使用した経験があり、取り扱い上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取扱いが説明できること。	同左
(8) 2泊以上のキャンプに必要な個人携行品を身につけて点検を受けること。	同左

➤ 野外炊事章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1) 戸外で、あり合わせの材料を用いて、地面を掘らない方法で、3種以上のかまどを作ること。また、常設かまどの正しい利用方法と注意点を説明できること。	同左
(2) ホワイトガソリン、灯油、ガスを使用するキャンピングストーブ(コンロ)と自然保護の関係について理解していること。また、1機種以上のキャンピングストーブを使用して炊事をした経験があり、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。	同左
(3) マッチを防水加工し、携帯用の防水容器に入れて提出すること。	同左
(4) 班の炊事係として、次の野外料理を作ること。 ① 食用野草を含む野菜料理 2種以上 ② 牛、豚、鶏などの肉料理 2種以上 ③ 塩干魚および生魚の料理 2種以上 ④ 小麦粉を用いたダンパー、またはツイスト	同左
(5) 川などの自然水を使用するときの簡易ろ過装置を図解し作成する。また、ろ過後の水及び生水の滅菌ができること。	同左
(6) 非常食(簡易食品を含む) 5種をあげ、その扱いを知ること。	同左
(7) 炊事用具の正しい使用と管理ができ、次の項目が実演できること。 ① 包丁を用いて、料理に応じた野菜の切り方、魚の3枚おろし。 ② 使用した炊事用具で食中毒を引き起こさないための衛生管理方法。	同左

➤ 公民章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1) 次の3項目について説明する。 ① 国民の権利、義務、責任 ② 民主主義と基本的人権	同左

③ 日本国憲法の三大原則	
(2)地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何ができるか説明する。	同左
(3)日本がどのような国際貢献をしてきたか、また今後求められる国際貢献について説明する。	同左
(4)ボーイスカウト以外で地域に貢献する団体を調べる。	同左
(5)国において市民権とはどういう意味か調べ、どうすればこの国において良き国民となれるか隊長と話し合う。	同左
(6)新聞等の報道の中から「平和」・「人権」に関する記事を1つ選び、概略をまとめる。	同左
(7)郷土の歴史、伝統行事、文化遺産について調べ、報告書を提出する。	同左
(8)隊長の助言を得て、地域社会での指導的立場にある人を訪問し、仕事や任務について学び、集会で話す。	同左

➤ リーダーシップ章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)班長または次長（ベンチャースカウトの場合は議長またはチーフ）として、6か月以上、隊運営に携わる。	同左
(2)班の係（ベンチャースカウトの場合は隊または活動グループ）において、それぞれの役割について説明できる。	同左
(3)他のスカウトの進級に向けて、スカウト技能を指導する。	同左
(4)傾聴について知り、仲間の意見を理解する。	同左
(5)コミュニケーションに関する書籍を読み、自分の意見を隊長と話し合う。	同左

➤ ハイキング章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)パトローリングの正しい方法と、その意味を説明する。	同左
(2)ハイキングの装備携行品一覧表を作成する。	同左
(3)ハイキングで観察物を3種以上スケッチする。	同左
(4)地球にやさしい野外活動をするために、ハイキングで何ができるかを説明できる（アウトドアコード）。	同左
(5)道に迷ったときの対処の方法を説明できる。	同左
(6)ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。	1線法、又は2線法を基本とする。
(7)ハイキングに適切な服装、雨具、靴について説明できる。	同左
(8)自然環境を利用した天気の前測ができる。	同左

➤ スカウトソング章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)「君が代」と「連盟歌」を正しく歌える。	同左
(2)スカウト歌集から10曲以上、スカウトソングを歌える。	同左
(3)セレモニーで連盟歌の指揮を正しく行う。	同左
(4)5曲以上のスカウトソングを歌唱指導することができる。	同左

➤ 通信章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)100m以上離れた2点で手旗の送受信ができる。	同左
(2)号笛または旗を用いたモールス信号で10文字程度の文章の送受信ができる。	同左
(3)追跡記号を10種以上覚える。	同左
(4)300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。	同左
(5)救難信号の種類と使い方を説明する。	同左

➤ 計測章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)自分の身体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。	同左
(2)ロープに1m刻みの目盛りを施し、計測に使える。	同左
(3)100mの距離を誤差5%以内で歩測する。	同左
(4)スカウトペースで2kmを15分で移動する。	同左
(5)はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で測る。	同左
(6)自作の簡易測量器具を使い、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。	同左
(7)簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離(長さ、高さ)を誤差10%以内で測る。	同左
(8)計測を取り入れた集会を計画、実施を行う。	同左

➤ 観察章

日本連盟教育規程	愛媛県連盟
(1)食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。	同左
(2)24個の小さなものを1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって覚える。	同左
(3)ハイキングで観察物を3種以上の方法(写真、スケッチ、拓本、採取など)で記録する。	同左
(4)樹木5種以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。	同左
(5)北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。	同左
(6)身近にいる動物(ほ乳類・鳥類・魚類など)について観察し、報告する。	同左

5. 上位級への挑戦

初級から1級の細目については、挑戦中の級よりも上位の課目を履修できますが、2級のハイキング(スカウト技能(1)ハイキング・地図⑥)と1級のキャンプ(スカウト技能(1)キャンピング⑥(1級旅行))は、該当する級でのみ履修できます。

また、1. 基本(1)「ちかい」と「おきて」の実践については、6. 班長会議(1)以外のその他の細目をすべて履修した後にサインをするようにする。(2018.03 スカウティング P.9 より)

6. 記章類の着用

技能章は7個まで制服右袖に着用し、7個以上取得した場合は全ての技能章をタスキに着用する。また、読み替

えを行った取得済みのターゲットバッチ、及びマスターバッチについては、ボーイ隊在籍期間中はタスキに着用し、ベンチャー隊上進後はタスキから取り外すこと。

旧課程で取得したベンチャースカウトのスカウト顕彰 菊は、旧課程履修中かつスカウト登録期間中は、着用することができる。ただし、新課程に移行した場合は、着用することはできない。

7. 団面接、地区面接、県連盟面接

団面接は、初級スカウト章、2級スカウト章、1級スカウト章、菊スカウト章、隼スカウト章、及び富士スカウト章全てのスカウト章に対して行う。

地区面接、及び県連盟面接（以下、「上級スカウト面接」という）は、菊スカウト章、隼スカウト章、及び富士スカウト章に対して行う。愛媛県連盟に提出する上級スカウト面接時の必要書類は下記のとおりとし、各地区進歩委員長を通じて提出するものとする。なお、下記以外に面接実施事務連絡に記載された書類も提出すること。

<菊スカウト章面接>

- 菊スカウト面接申請書 ※県連盟ホームページより入手
- 作文（400文字詰め原稿用紙2枚程度） ※上記申請書ともに提出
 - ✓ ちかいとおきての実践について
- 出席状況表（過去1年程度） ※面接時に持参
- 活動報告 ※面接時に持参
 - ✓ 1級旅行の計画書、報告書 【1級スカウト課題「スカウト技能（1）⑥】
 - ✓ 班キャンプ、または隊キャンプの計画書、報告書 【菊スカウト課題「スカウト技能（2）」】

<隼スカウト章面接>

- 隼スカウト面接申請書 ※県連盟ホームページより入手
- チームプロジェクトの計画書、報告書。または、隊キャンプ(3泊4日以上)の計画書、報告書。
【隼スカウト課題「成長と貢献（1）」】 ※上記申請書ともに提出
- 作文（400文字詰め原稿用紙2枚程度） ※上記申請書ともに提出
 - ✓ 富士スカウト修得に向けて
- 出席状況表（過去1年程度） ※面接時に持参
- 活動報告 ※面接時に持参
 - ✓ 移動キャンプの計画書、報告書 【隼スカウト課題「スカウト技能（1）」】
 - ✓ ボーイスカウト隊での指導報告書 【隼スカウト課題「スカウト技能（2）」】
 - ✓ 感想文「スカウティング・フォア・ボーイズ（キャンプファイア物語 21, 22 および 26）」
【隼スカウト課題「スカウト精神（1）」】
 - ✓ 他部門の活動への奉仕実績報告書 【隼スカウト課題「奉仕（1）」】
 - ✓ 社会的弱者への支援活動記録報告書 【隼スカウト課題「奉仕（2）」】

<富士スカウト章面接>

- 富士スカウト面接・認証申請書 ※県連盟ホームページより入手
- 個人プロジェクトの企画書、計画書、報告書
【富士スカウト課題「成長と貢献（1）」】 ※上記申請書ともに提出
- 出席状況表（過去1年程度） ※面接時に持参
- 活動報告 ※面接時に持参
 - ✓ 将来について隊長との話し合いの内容・結果報告書 【富士スカウト課題「基本（2）」】
 - ✓ 単独キャンプの計画書、報告書 【富士スカウト課題「スカウト技能（2）」】
 - ✓ 感想文「スカウティング・フォア・ボーイズ」 【富士スカウト課題「スカウト精神（1）」】
 - ✓ 地域社会や学校などでの奉仕活動の報告書 【富士スカウト課題「奉仕（1）」】

✓ 地区、県連盟、日本連盟の行事等への奉仕実績報告書 【富士スカウト課題「奉仕（2）」】

✓ 社会に奉仕貢献できるか隊長と話し合った内容、及びその結果の報告書

【富士スカウト課題「奉仕（3）」】

8. その他

この手引きは、県連盟副理事長(進歩担当)、県連盟進歩委員長、県連盟コミッショナー、及び県連盟副コミッショナー(BS、VS)にて協議のうえ、決定している。今後、各地区からの要望及び意見を取り入れ、年度単位で改訂していく予定である。

附 則

この手引きは、平成29年 9月 1日から適用する。

平成30年 4月 1日から改訂する。

平成31年 4月 1日から改訂する。